プログラム 9月28日(日)

第1会場 秋田キャッスルホテル 4F 放光の間 2/3

9:10~11:10	スポンサードシンポジウム 2 【アトピー性皮膚炎治療のひろがりを感じよう： 外用療法とかゆみへの最適アプローチ】	座長：片桐 一元（獨協医大埼玉医療センター） 井川 健（獨協医大）
SSY2-1	痒みの病態解明：IL-31 の役割と作用機序、そして今後の研究展望 安東 嗣修（金城学院大薬学部病態薬理学）	
SSY2-2	アトピー性皮膚炎標準治療における外用療法の重要性と最新の展開 多田 弥生（帝京大）	
SSY2-3	小児科医による小児アトピー性皮膚炎の早期治療の意義とかゆみに対する最適治療 成田 雅美（杏林大小児科）	
SSY2-4	アトピー性皮膚炎の病態と治療～かゆみに着目した新規治療と今後の展望～ 中原 剛士（九州大）	
		共催：マルホ株式会社
11:20~12:20	特別講演【共通講習：医療制度と法律】	座長：河野 通浩（秋田大）
SL	医療の展望と政策 佐々木 昌弘（厚生労働省危機管理・医務技術総括審議官）	
12:40~13:40	ランチョンセミナー 7 【Start now For the future～乾癬・掌蹠膿疱症治療を再考する～】	座長：名嘉真 武國（久留米大） 小宮根 真弓（自治医大）
LS7-1	これからの最適な掌蹠膿疱症治療と薬剤の使い分け 深澤 毅倫（東京大）	
LS7-2	免疫原性を見据えた乾癬治療薬の選択戦略 福本 毅（京都府立医大）	
		共催：ヤンセンファーマ株式会社

13:50~14:50 **教育講演 5**
【東北真菌懇話会プレゼンツ「外国籍の方から分離されたまれな真菌症」】

座長:出光 俊郎 (上尾中央総合病院)
 原田 和俊 (東京医大)

- EL5-1 東北真菌懇話会へようこそ!
 佐藤 俊樹(さとう皮膚科クリニック 岩手県盛岡市/東北真菌懇話会事務局)
- EL5-2 テルビナフィン耐性菌による広範囲体部白癬の在日インド人親子例
 加倉井 真樹(加倉井皮膚科クリニック 茨城県下妻市/自治医大さいたま医療センター)
- EL5-3 パキスタン人小児に生じた *Microsporum ferrugineum* による頭部白癬の 1 例
 野口 奈津子¹、赤坂 有妃子¹、伊藤 拓¹、鈴木 長男²、安澤 数史³、望月 隆³、
 原田 和俊⁴、河野 通浩¹
 (¹秋田大、²すずき皮膚科クリニック 秋田県横手市、³金沢医大、⁴東京医大)

第 2 会場 **秋田キャッスルホテル 4F 放光の間 1/3**

8:00~9:00 **モーニングセミナー 1【アトピー性皮膚炎】**

座長:室 慶直 (名古屋大)
 河野 通浩 (秋田大)

- MS1-1 これからのアトピー性皮膚炎治療～イブグリースの可能性～
 萩野 哲平(日本医大千葉北総病院)
- MS1-2 病態とエビデンスから見えてくるバリシチニブの至適患者像
 氏家 英之(北海道大)

共催:日本イーライリリー株式会社

9:10~11:10 **スポンサードシンポジウム 3**
【患者と医師ともに目指す寛解
～アトピー性皮膚炎診療の質を高める新たな視点～】

座長:蓮沼 直子 (広島大医学教育学)
 乃村 俊史 (筑波大)
 天野 博雄 (岩手医大)

- SSY3-1 医師と患者の評価から考える寛解状態とは
 ～臨床的寛解から始まる長期寛解維持までのロードマップ～
 小澤 麻紀(東照宮駅前皮膚科クリニック 宮城県仙台市/東北大)
- SSY3-2 病態から考える寛解状態とは
 井川 哲子(旭川医大)

- SSY3-3 “治す”から“持ち越さない”へ
～将来のアレルギー発症予防を見据えたIL-4/13抑制の意義～
千葉 貴人(せんのは皮ふ科アレルギークリニック 秋田県秋田市)

共催:サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

11:20～12:20 教育講演 6

座長:清原 祥夫(静岡県立静岡がんセンター)

- EL6 形成外科医から皮膚科医へ伝えたいこと
三川 信之(千葉大大学院形成外科学)

12:40～13:40 ランチョンセミナー 8
【安全性情報が肝腎!ホスラブコナゾールを使いこなす
～今こそ治そう、爪白癬～】

座長:鈴木 長男(すすき皮膚科クリニック)
渡辺 大輔(愛知医大)

- LS8-1 ホスラブコナゾールによる爪白癬治療:肝腎安全性情報のアップデートと実践的マネジメント
井上 剛(岩手医大)
- LS8-2 大切な家族に水虫をうつさない～ホスラブコナゾールでの爪白癬治療の目標にしよう!～
水芦 政人(りふ皮膚科アレルギー科クリニック 宮城県宮城郡)

共催:佐藤製薬株式会社/エーザイ株式会社

13:50～14:50 教育講演 7【酒皸と痤瘡、スキンケアのひろがりを感じよう】

座長:小宮根 真弓(自治医大)
井川 健(獨協医大)

- EL7-1 酒さ診療を極める～診断・治療・スキンケアの全て～
角田 加奈子(岩手医大)
- EL7-2 痤瘡の面皰治療とスキンケア
菊地 克子(仙台たいはく皮膚科クリニック)

第3会場 秋田キャッスルホテル 4F 矢留の間 2/3

9月28日(日)
プログラム

8:00~9:00 **モーニングセミナー 2**
【Bio/JAKi Naïve 患者さんへサイバインコという選択肢】

座長:秋山 真志 (名古屋大)

MS2-1 アトピー性皮膚炎全身療法の最前線：生物学的製剤と JAK 阻害剤の使い分け、サイバインコ®の位置付けと副作用マネジメント
高橋 隼也(東北大)

MS2-2 Bio 全盛時代にサイバインコは必要か？
澄川 靖之(すみかわ皮膚科アレルギークリニック 北海道札幌市)

共催:ファイザー株式会社/ヴィアトリス製薬合同会社

9:10~10:10 **教育講演 8 【秋田の新旧風土病「ツツガムシ病」と「クマ外傷」】**

座長:川内 康弘 (東京医大茨城医療センター)
田村 敦志 (老年病研究所付属病院)

EL8-1 秋田県とつつが虫病～歴史的背景と近年の状況～
檜尾 拓子(秋田県健康環境センター)

EL8-2 クマ外傷～クマージェンシー・メディシン～
中永 士師明(秋田大救急・集中治療医学)

10:20~11:50 **東部支部企画 CPC 【大学間の垣根を越えた CPC】**

総合司会:能登 舞 (秋田大)
コメンテーター:三井 広 (山梨大)
六戸 大樹 (弘前大)

東部支部所属の各大学から2名前後の若手医師を選出して参加頂く企画です。CPC 選手は、学会前日に異なった大学の方とグループを組み、共同で全例の CPC 症例について討議し、最終判断を付けます(プレ CPC)。プレ CPC で検討した内容を各グループの代表者が1題ずつ発表し、オーガナイザーの先生が病理診断のポイントや鑑別診断などを解説します。

12:40~13:40 **ランチョンセミナー 9 【アトピー性皮膚炎の長期寛解維持を目指して】**

座長:須藤 一 (須藤皮膚科医院)
大矢 幸弘 (名古屋市立大環境労働衛生学、藤田医大総合アレルギー科)

LS9-1 アトピー性皮膚炎患者が寛解を維持するためには、多職種による連携が必要である～モイゼルト軟膏の上手な使い方～
伊藤 友章(東京医大)

- LS9-2 アトピー性皮膚炎治療成功への道～他科連携の重要性～
 矢上 晶子(藤田医大ばんだね病院総合アレルギー科/藤田医大先端アレルギー免疫共同
 研究講座/藤田医大総合アレルギーセンター)

共催:大塚製薬株式会社

第4会場 秋田キャッスルホテル 3F 弥生の間

9:10~10:10 一般演題 11 【角化異常症、代謝異常症】

座長:林 周次郎(獨協医大)
 菅 裕司(札幌医大)

- O-70[†] 多種の免疫抑制薬と生物学的製剤に抵抗性の成人発症 keratosis lichenoides chronica の1例
 尾山 徳孝¹、関根 史織¹、山内 悠大¹、北野 祐平¹、岸本 千波¹、八木 洋輔²、
 長谷川 稔¹
¹福井大感覚運動医学講座、²大阪赤十字病院
- O-71 アプレミラストが著効した毛孔性紅色秕糠疹の1例
 中村 沙彩、平田 央、大霜 智子、鶴田 大輔
 大阪公立大
- O-72^{*} 先天性魚鱗癬様紅皮症の1例
 加倉井 真主¹、乃村 俊史²
¹土浦協同病院、²筑波大
- O-73 非典型な皮疹を呈した表在播種型汗孔角化症の1例
 岩崎 万里子、岡本 崇、三井 広、川村 龍吉
 山梨大
- O-74[†] 播種状表在性光線性汗孔角化症に続発した hyperkeratotic prokeratosis の1例
 輿石 蘭夢^{1,2}、川上 佳夫¹、三宅 智子¹、平井 陽至¹、大野 貴司³、森実 真¹
¹岡山大、²渡辺病院内科、³中島病院
- O-75^{*} GJB2 遺伝子変異が同定された難聴を伴う掌蹠角化症の1例
 平井 康隆、安田 正人、内山 明彦、栗山 裕子、茂木 精一郎
 群馬大
- O-76 四肢に多発し、urate milk を伴った痛風結節の1例
 瀧脇 道弘¹、横山 華英¹、池田 高治¹、市川 聡²、加藤 雅士³
¹東北医科薬科大、²東北医科薬科大血液・リウマチ科、³東北医科薬科大病理診断科
- O-77 多中心性 Castleman 病を伴った Acral persistent papular mucinosis の1例
 久原 章弘¹、三井 純雪¹、岡崎 桃子¹、善家 由香理¹、新井 達¹、後藤 裕美²
¹聖路加国際病院、²後藤皮膚科 東京都中央区

10:10~11:10 一般演題 12 【治療、萎縮症】

座長:神谷 浩二 (自治医大)
角 総一郎 (自治医大)

9月28日(日)
プログラム

- O-78[†] Parry-Romberg 症候群の 1 例
井田 梓¹、大高 麻由¹、石川 真衣¹、関口 明子¹、遠藤 雪恵¹、西田 豊²、大谷 祐介²、
山田 諭²、滝沢 琢己²、茂木 精一郎¹
¹群馬大、²群馬大小児科
- O-79 酒さにグリテール含有デキサメタゾン軟膏(グリメサゾン[®]軟膏)亜鉛華軟膏混合剤が奏効する
山下 利春
白石スキンケアひふ科クリニック 北海道札幌市
- O-80[†] 皮膚腫瘍切除術における合併症とそのリスクファクター因子の統計学的解析
加藤 裕史¹、加藤 香澄²、真柄 徹也^{1,3}、森田 明理¹
¹名古屋市立大、²社会福祉法人聖霊会聖霊病院、³三重北医療センターいなべ総合病院
- O-81[†] 局所陰圧閉鎖療法が有効であった腓液皮膚瘻の 1 例
菊池 幸乃¹、満間 照之¹、堀田 美麗¹、多湖 真帆里¹、加藤 史織¹、牧 卓矢¹、
森本 大士²
¹一宮市立市民病院、²一宮市立市民病院外科
- O-82[†] ベーチェット病の精巣上体炎に対してもアプレミラストが有効であった 1 例
池本 千紘¹、同前 友季子¹、高橋 稜平¹、清島 真理子¹、豊田 将平²、江原 英俊²、
松尾 美貴子³、杉江 茂幸³
¹朝日大病院、²朝日大病院泌尿器科、³朝日大病院病理診断科
- O-83 バリシチニブ 2mg/日の、中等症から重症の JAK 阻害薬投与歴のない日本人アトピー性皮膚炎患者に対する臨床的有用性の検討
水芦 政人
りふ皮膚科アレルギー科クリニック 宮城県宮城郡
- O-84 日本人アトピー性皮膚炎患者の手湿疹に対する 1% ジファミラスト軟膏外用療法の患者満足度の検討
水芦 政人
りふ皮膚科アレルギー科クリニック 宮城県宮城郡

12:40~13:40 ランチョンセミナー 10

【IL-17 受容体抗体の可能性～患者さんに適した治療戦略を探る～】

座長:今福 信一 (福岡大)
安部 正敏 (札幌皮膚科クリニック)

- LS10-1 乾癬治療における IL-17RA を阻害する意義
柴田 彩(東京大)

- LS10-2 医療行動経済学から見た IL-17 受容体抗体療法～患者 QOL 向上とルミセフの臨床的意義～
大塚 篤司(近畿大)

共催:協和キリン株式会社

14:55～16:55 2025 年度日本皮膚科学会東部支部企画研修講習会
【皮膚病理組織に使われる用語の総まとめ】

座長:天野 博雄 (岩手医大)
赤坂 英二郎 (弘前大)

- 研修-1 炎症性皮膚疾患の病理診断に必要な基礎知識
浅井 純(京都府立医大)
- 研修-2 ポイント法から学ぶ皮膚腫瘍の病理組織用語
清原 隆宏(関西医大総合医療センター)

第 5 会場 秋田市にぎわい交流館 AU 3F 多目的ホール

9:10～10:10 一般演題 13 【乾癬、膿疱症、その他②】

座長:渡部 大輔 (岩手医大)
山川 岳洋 (秋田大)

- O-85 ケロイド様の外観を呈した壊疽性膿皮症
中島 瑞穂¹、田村 敦志^{1,2}、南館 真里那¹、長谷川 道子¹
¹伊勢崎市民病院、²老年病研究所病院
- O-86[†] 化膿性汗腺炎の経過中に尋常性乾癬を発症した 1 例
同前 友季子¹、池本 千紘¹、高橋 稜平¹、梶浦 康平²、松尾 美貴子³、杉江 茂幸³、
清島 真理子¹
¹朝日大病院、²朝日大病院糖尿病内科、³朝日大病院病理診断科
- O-87[†] ビメキズマブが有効であった Aseptic and alopecic nodules of the scalp～
Pseudocyst of the scalp との異同について
山本 美友貴、向山 竜人、高田 満喜、渡邊 幸奈、山本 俊幸
福島県立医大
- O-88 妊娠中期に悪化し、スペソリマブが著効した膿疱性乾癬
加藤 峰幸¹、重原 庸哉¹、森脇 隆太²、本多 泉²
¹東京都立多摩総合医療センター、²東京都立多摩総合医療センター産婦人科
- O-89[†] 当科で経験した壊疽性膿皮症 96 例の臨床的検討
則川 菜摘、菊池 信之、山本 俊幸
福島県立医大

- 0-90⁺ 水疱性類天疱瘡治療中に発症した膿疱性乾癬の1例
赤坂 有妃子、山川 岳洋、河野 通浩
秋田大
- 0-91⁺ VEXAS 症候群の2症例にみられた皮膚症状と皮膚病理組織学的所見の検討
稲吉 咲穂、西 純平、井上 卓也、杉田 和成
佐賀大

10:10~11:10 一般演題 14 【紅斑、血管炎、皮膚付属器疾患】

座長:小川 英作(信州大)
角田 加奈子(岩手医大)

- 0-92⁺ 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法中に発症した白血球破砕性血管炎の1例
金城 賢吾¹、浅野 善英²、佐藤 公亮³
¹石巻赤十字病院、²東北大病院、³東北大病院消化器内科
- 0-93 Crohn 病を背景に Sweet 症候群と結節性紅斑を併発した1例
倉片 彬臣、松田 和樹、千葉 一恵、三浦 俊介、佐藤 伸一
東京大
- 0-94⁺ 当科で経験したカピバセルチブによる薬疹6例の検討
佐々木 朋香¹、山北 高志¹、平田 宗嗣²、杉浦 一充¹
¹藤田医大、²藤田医大乳腺外科学講座
- 0-95 遠隔転移を伴うS状結腸癌の原発巣切除により皮疹が著明に改善した腫瘍随伴性紅皮症の1例
住谷 惇治、沼田 礼良、園村 真美、金田 一真、宗元 紗和、福永 淳、森脇 真一
大阪医科薬科大
- 0-96⁺ ネイリストの技術を用いた皮膚科診療
和田 康夫¹、鯨岡 百合香²
¹赤穂市民病院、²(株)cranberry nail
- 0-97⁺ 日本大学医学部附属板橋病院における円形脱毛症患者のQOL調査
高橋 昌五、葉山 惟大、年永 麻由子、朝倉 茉由、藤田 英樹
日本大

第6会場

秋田キャッスルホテル 4F 矢留の間 1/3

8:00~9:00 モーニングセミナー 3 【遺伝性血管性浮腫 (HAE)】

座長:宇原 久(札幌医大)
大澤 勲(埼玉草加病院)

- MS3-1 プレジジョン メディシンの時代を迎えた HAE 診療の ABC
秀 道広(広島市立病院機構)

MS3-2 発作抑制薬による HAE 患者の QOL 改善と今後の治療展望
岡本 崇(山梨大)

共催: 武田薬品工業株式会社

9:10~10:15	一般演題 15 【上皮系腫瘍、皮膚付属器腫瘍③、間葉系腫瘍①】
	座長: 池田 高治 (東北医科薬科大) 石川 真郷 (福島県立医大)
O-98	右示指に生じた肺癌皮膚転移の 1 例 阿部 夏実、宮野 恭平、常深 祐一郎 埼玉医大
O-99*	表皮嚢腫との鑑別を要した大腿部の表在性血管粘液腫の 1 例 橋本 恵里、大草 健弘、濱本 龍典、伊藤 雄太、佐々木 美紀、中田 土起丈 昭和医大藤が丘病院
O-100	初期病変として結節性紅斑、毛細血管拡張を呈した血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫 山下 あや ^{1,2} 、齋藤 尚矢 ^{1,2} 、三上 花子 ² 、滝吉 典子 ² 、原田 研 ² 、山下 覚 ³ 、赤木 智昭 ³ ¹ 弘前大、 ² 青森県立中央病院、 ³ 青森県立中央病院血液内科
O-101	結節性痒疹として加療されていた全身性発疹性組織球症の 1 例 関根 史織 ¹ 、尾山 徳孝 ² 、秋田 浩孝 ¹ 、杉浦 一充 ³ ¹ 藤田医大ばんだね病院、 ² 福井大、 ³ 藤田医大
O-102*†	眼内および中枢神経浸潤を伴った菌状息肉症 井野 ちおり ¹ 、嘉村 真知子 ¹ 、王丸 春菜 ² 、岡本 翔 ² 、八幡 信代 ³ 、井上 卓也 ¹ 、 安藤 寿彦 ² 、園田 康平 ³ 、杉田 和成 ¹ ¹ 佐賀大、 ² 佐賀大血液腫瘍内科、 ³ 九州大眼科
O-103†	皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫と深在性エリテマトーデスとのオーバーラップの 1 例 石川 優人 ¹ 、島内 隆寿 ² 、西田 舞 ¹ 、深津 有佑 ³ 、馬場 聡 ⁴ 、橋爪 秀夫 ⁵ ¹ 磐田市立総合病院、 ² 浜松医大、 ³ 磐田市立総合病院血液内科、 ⁴ 浜松医大病院病理部、 ⁵ 静岡社会健康医学大学院大
O-104*	後頭部腫瘍と両側頸部リンパ節数珠状腫大を呈した木村病の 1 例 長谷川 絢哉、宋 基旦、碓 真雄、井上 禎夫、小森 崇矢、中村 泰大 埼玉医大国際医療センター
O-105	頭部に腫瘍を形成し体幹部に紫紅色斑が多発したランゲルハンス細胞組織球症の成人例 猪股 知微 ¹ 、清水 知道 ¹ 、千葉 裕奈子 ¹ 、濱崎 慎平 ¹ 、新井 翔 ¹ 、廣田 綾子 ¹ 、 松本 詩織 ¹ 、齋藤 麗子 ¹ 、近藤 章生 ¹ 、山崎 文和 ¹ 、大間知 謙 ² 、中村 直哉 ³ 、 宮原 佐弥 ³ 、谷垣 祐妃 ³ 、馬淵 智生 ¹ ¹ 東海大、 ² 東海大血液腫瘍内科、 ³ 東海大病理診断学

10:15~11:10 一般演題 16 【間葉系腫瘍②、その他③】

座長:伊藤 泰介(浜松医大)
森 龍彦(福島県立医大)

- O-106* JAK 阻害薬で治療していたアトピー性皮膚炎の経過中に診断された菌状息肉症の 1 例
三上 眞由¹、今井 聡子¹、脇 裕磨^{1,2}、松崎 大幸¹、石氏 陽三¹、延山 嘉真¹、
朝比奈 明彦¹、石地 尚興^{1,3}、横山 洋紀⁴
¹東京慈恵会医大、²東京慈恵会医大柏病院、³すぎのこ皮ふ科クリニック、
⁴東京慈恵会医大腫瘍・血液内科
- O-107*[†] 血球貪食症候群を合併し、治療抵抗性であった原発性皮膚 γ δ T 細胞リンパ腫の 1 例
武藤 容典¹、小川 陽一¹、坂本 勇磨²、藤原 万衣孔³、桐戸 敬太²、大石 直輝³、
島田 眞路¹、川村 龍吉¹
¹山梨大、²山梨大血液・腫瘍内科、³山梨大人体病理
- O-108 毛包向性菌状息肉症からセザリ-症候群に移行し、モガムリズマブが奏効している 1 例
荒瀬 琴乃¹、伊藤 裕代²、卜部 紘衣¹、内田 百佳¹、中島 範久¹、林 隆晶¹、
赤塚 太朗¹、竹腰 知紀³、濱田 利久¹、菅谷 誠¹
¹国際医療福祉大成田病院、²虎の門病院、³国際医療福祉大三田病院
- O-109*[†] 2 回再発後に診断した線維肉腫様隆起性皮膚線維肉腫
上野 眞一、岡田 悦子
NHO高崎総合医療センター
- O-110*[†] 当科で経験した Nodular cystic fat necrosis 8 例と基礎疾患に関する検討
向山 竜人、山本 俊幸
福島県立医大
- O-111* 隆鼻目的に用いられた象牙インプラントによる皮膚潰瘍の 1 例
坂下 千晶¹、中村 麗奈¹、水野 みどり¹、中里 公亮²
¹伊勢赤十字病院、²伊勢赤十字病院形成外科
- O-112*[†] 難治性潰瘍化し DIP 関節脱臼に至った小児マムシ咬傷の 1 例
山本 周平¹、松本 敏希²、西原 春奈²、加藤 剛志³、大西 哲朗⁴
¹名古屋市立大みどり市民病院、²岡崎市民病院、³岡崎市民病院形成外科、
⁴岡崎市民病院整形外科

12:40~13:40 ランチョンセミナー 11

【手掌多汗症患者の相談の増やし方と治療継続のコツ】

座長:石川 治(石井病院)
河野 通浩(秋田大)

- LS11-1 当院での手掌多汗症治療の取り組み～相談しやすく、継続しやすい環境作りの工夫～
山本 佐織(さおり皮ふ科クリニック 山梨県韮崎市)

- LS11-2 患者さんの気持ちに寄り添った掌蹠多汗症治療～アポハイド[®]ローションの効果を詳しく調べてみた～
茂木 精一郎(群馬大)

共催:久光製薬株式会社